

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 09030463 A

(43) Date of publication of application: 04.02.97

(51) Int. CI

B62D 65/00

(21) Application number: 07182400

(71) Applicant: HONDA MOTOR CO LTD

(22) Date of filing: 19.07.95

(72) Inventor: TAKANO YOSHIHITO

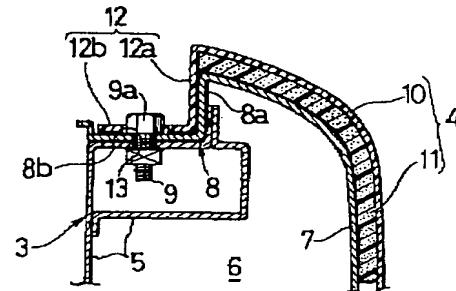
(54) EXTERNAL SCAR PREVENTING COVER FOR  
VEHICLE BODY

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent an external scar preventing cover covered at a specific portion of a vehicle body for preventing an external scar of the vehicle body from being displaced by vibrations or its contact with another object at the time of the parts fitting work.

SOLUTION: A hook section 12 to be hooked on a step section 8 continued to the upper edge of the protection section 7 of a vehicle body is provided at the upper end of the plate-like cover main body 10 of an external scar preventing cover 4 to prevent the slip-down of the cover main body 10, and the hook section 12 is provided with a positioning hole 13 coupled with a bolt head section 9a existing on the step section 8 to prevent the displacement of the cover main body 10.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-30463

(43)公開日 平成9年(1997)2月4日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>  
B 6 2 D 65/00

識別記号

府内整理番号

F I  
B 6 2 D 65/00

技術表示箇所  
D  
Q

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全4頁)

(21)出願番号 特願平7-182400

(22)出願日 平成7年(1995)7月19日

(71)出願人 000005326

本田技研工業株式会社

東京都港区南青山二丁目1番1号

(72)発明者 高野 芳仁

埼玉県狭山市新狭山1丁目10番地の1 本田

技研工業株式会社埼玉製作所内

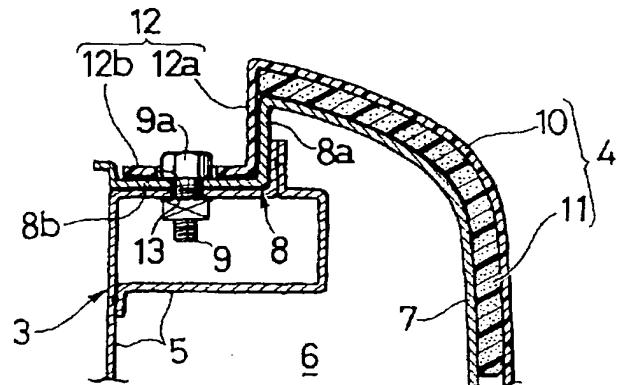
(74)代理人 弁理士 落合 健 (外1名)

(54)【発明の名称】 車体用外傷防止カバー

(57)【要約】

【課題】 部品取付等の作業時、車体の外傷を未然に防止すべく、車体の特定個所に被せる外傷防止カバーが振動や他物の接触によるも位置ずれしないようとする。

【解決手段】 外傷防止カバー4の板状カバー本体10上端に、車体1の保護部7上縁に連なる段部8に掛ける鉤部12を連設してカバー本体10のずれ落ちを防ぎ、その鉤部12には、段部8上に存在するボルト頭部9aに嵌合する位置決め孔13を設けてカバー本体10の位置ずれを防ぐ。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体(1)の保護部(7)を覆うべく、その外面形状に合せて形成された板状のカバー本体(10)と、このカバー本体(10)に裏打ちされたクッションパッド(11)とからなり、カバー本体(10)の上端に、前記保護部(7)の上縁に連なる段部(8)に掛けてカバー本体(10)の脱落を阻止する鉤部(12)を連設した車体用外傷防止カバーにおいて、前記鉤部(12)に、前記段部(8)に存在する凸部(9a)又は凹部(15)に嵌合する位置決め嵌合部(13, 16)を設けたことを特徴とする、車体用外傷防止カバー。

【請求項2】 請求項1記載のものにおいて、前記位置決め嵌合部(13, 16)を、その直径方向に弾性変形可能に構成したことを特徴とする、車体用外傷防止カバー。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、自動車の組立工場等において、車体の表面が治具や工具等の接触により傷付けられることを回避すべく、その表面を覆うように用いられる車体外傷防止カバーに関し、特に、車体の保護部を覆うべく、その外面形状に合せて形成された板状のカバー本体と、このカバー本体に裏打ちされたクッションパッドとからなり、カバー本体の上端に、前記保護部の上縁に連なる段部に掛けてカバー本体の脱落を阻止する鉤部を連設した車体用外傷防止カバーの改良に関する。

## 【0002】

【従来の技術】かかる車体外傷防止カバーは、例えば、実公平1-32583号公報に開示されているように、既に知られている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の車体外傷防止カバーでは、カバー本体の鉤部を車体の段部に単に引掛けるだけで車体からの脱落を防止しているので、車体の搬送中に振動や他物の接触を受けたとき、外傷防止カバーが車体の保護部から前記段部の長手方向にずれてしまうことがある。

【0004】本発明は、かかる事情に鑑みてなされたもので、振動や他物の接触によるも車体の保護部からずれることがないようにした前記車体外傷防止カバーを提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、車体の保護部を覆うべく、その外面形状に合せて形成された板状のカバー本体と、このカバー本体に裏打ちされたクッションパッドとからなり、カバー本体の上端に、前記保護部の上縁に連なる段部に掛けてカバー本体の脱落を阻止する鉤部を連設した車体用外傷

防止カバーにおいて、前記鉤部に、前記段部に存在する凸部又は凹部に嵌合する位置決め嵌合部を設けたことを第1の特徴とする。

【0006】また本発明は、上記特徴に加えて、前記位置決め嵌合部を、その直径方向に弾性変形可能に構成したことを第2の特徴とする。

## 【0007】

【作用】本発明の第1の特徴によれば、鉤部に設けた位置決め嵌合部と段部上の凸部又は凹部との嵌合により、カバー本体の保護部からの位置ずれを防ぐことができる。

【0008】また本発明の第2の特徴によれば、位置決め嵌合部の弾性変形により、これを異径の凹部又は凸部にも容易に嵌合することができる。

## 【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、添付図面に示した実施例に基づいて説明する。

【0010】図1ないし図3は本発明の第1実施例を示すもので、図1は外傷カバーを施した自動車車体の斜視図、図2は図1の要部平面図、図3は図2の3-3線断面図である。

【0011】先ず、図1において、自動車の製造ラインにおいて、塗装工程を終えた車体1にエンジンを取り付ける際には、エンジンルーム2を区画する車体1の左右両側壁3、3の表面を保護すべく、それを外傷防止カバー4、4によって覆っておく。

【0012】図2及び図3に示すように、前記各側壁3は、図示しないフロントフレームに接合されるホイールハウスメンバ5と、このホイールハウスメンバ5の外側面との間にホイールハウス6を画成するフロントフェンダ7とを備える。このフロントフェンダ7は、その上端に車体前後方向に延びる樋状の段部8を有し、その底壁部8bが複数のボルト9によりホイールハウスメンバ5に固着される。したがって前記底壁部8b上には複数のボルト9の頭部9aが点在しており、これが外傷防止カバー4のずれ止めのための凸部として次のように利用される。

【0013】外傷防止カバー4は、フロントフェンダ7の外表面に適合するように、比較的硬質の合成樹脂(例えばポリプロピレン)をもって成形された板状のカバー本体10と、このカバー本体10に裏打ちされた比較的柔軟な合成樹脂(例えば発泡ウレタン)からなるクッションパッド11とから構成される。カバー本体10の上端には鉤部12が連設される。この鉤部12は前記段部8の側壁部8aに係合する垂直壁部12aと、前記段部8の底壁部8bに重ねられる水平方向の複数の突片12bとからなっており、これら突片12bに前記ボルト頭部9aに嵌合する位置決め孔13(位置決め嵌合部)が穿設される。

【0014】而して、外傷防止カバー4をフロントフェ

ンダ7に被せるときには、カバー本体10の鉤部12をフロントフェンダ7上端の段部8に掛けると共に、突片12bの位置決め孔13をボルト頭部9aに嵌合する。

【0015】このとき、鉤部12の垂直壁部12aが段部8の側壁部8aに係合することにより、外傷防止カバー4のフロントフェンダ7からのずれ落ちを防止でき、また突片12bの位置決め孔13がボルト頭部9aに嵌合することにより、外傷防止カバー4の位置ずれを防ぐことができる。したがって、車体1の搬送中の振動や、他物の接触によるも、外傷防止カバー4をフロントフェンダ7上の定位置に確実に保持し続けることができる。そして、組立治具や工具等が外傷防止カバー4に当つても、その衝撃は、比較的硬質のカバー本体10により広範囲に分散されると共に、柔軟なクッションマット11により吸収され、フロントフェンダ7の損傷を防ぐことができる。

【0016】図4及び図5は本発明の第2実施例を示す。この実施例は、カバー本体10の鉤部12を、カバー本体10と一緒に垂直壁部12と、それに接着されたゴム製の突片12bとから構成し、その突片12bに穿設される位置決め孔13の拡径方向の弾性変形を可能にすべく、位置決め孔13から放射状に延びる複数条のスリット14を突片12bに設けた点を除けば前実施例と同様の構成であり、図中、前実施例と対応する部分には、それと同一の符号を付しておく。

【0017】この実施例によれば、ボルト頭部9aが位置決め孔13より大径であっても、スリット14を開いて位置決め孔13を拡径させることにより、これをボルト頭部9aに嵌合させることができ、これにより外傷防止カバー4の位置ずれを確実に防ぐことができる。

【0018】図6は本発明の第3実施例を示す。この実施例はフロントフェンダ7の段部8の底壁部8bに凹部としての孔15が存在する場合、これをを利用して外傷防止カバー4の位置ずれを防ぐようにしたものである。即ち、ゴム製突片12bの下面には中空で鉛状の位置決め突起16（位置決め嵌合部）を形成し、この位置決め突起16に、その縮径方向の弾性変形を可能にする複数のスリット17を設けたもので、その位置決め突起16は、これを縮径方向に変形させつゝ、前記孔15に嵌入される。これによって外傷防止カバー4の位置ずれが阻止される。その他の構成は第2実施例と同様であり、図中、第2実施例と対応する部分には、それと同一の符号を付しておく。

【0019】本発明は、上記各実施例に限定されるもの

ではなく、その要旨を逸脱することなく種々の設計変更が可能である。例えば、フロントフェンダ7以外の部分を保護する場合には、その部分の形状に合せて外傷防止カバー4は形成される。

#### 【0020】

【発明の効果】以上のように本発明の第1の特徴によれば、車体の保護部を覆うべく、その外面形状に合せて形成された板状のカバー本体と、このカバー本体に裏打ちされたクッションパッドとからなり、カバー本体の上端

10 に、前記保護部の上縁に連なる段部に掛けてカバー本体の脱落を阻止する鉤部を連設した車体用外傷防止カバーにおいて、前記鉤部に、前記段部に存在する凸部又は凹部に嵌合する位置決め嵌合部を設けたので、車体の振動や他物の接触によるも外傷防止カバーの車体保護部からの位置ずれを防止し、該保護部を外傷から確実に保護することができる。

【0021】また本発明の第2の特徴によれば、前記位置決め嵌合部を、その直径方向に弾性変形可能に構成したので、嵌合部の弾性変形により、これを異径の凹部又は凸部に確実に嵌合させることができ、汎用性を有する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係る外傷防止カバーを施した自動車車体の斜視図

【図2】図1の2矢視図

【図3】図2の3-3線断面図

【図4】本発明の第2実施例を示す、図3と同様の断面図

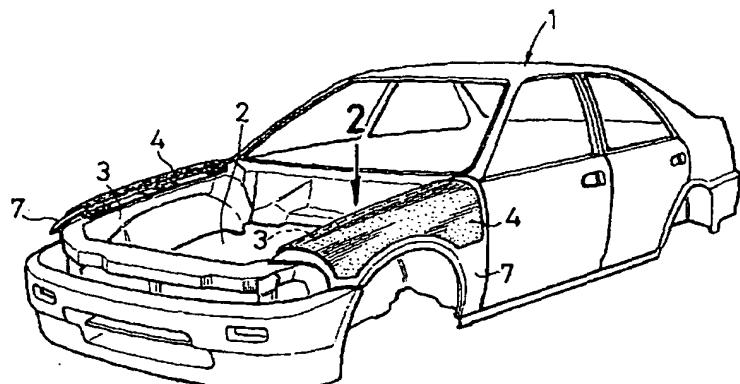
【図5】図4における突片の平面図

30 【図6】本発明の第3実施例を示す、図4と同様の断面図

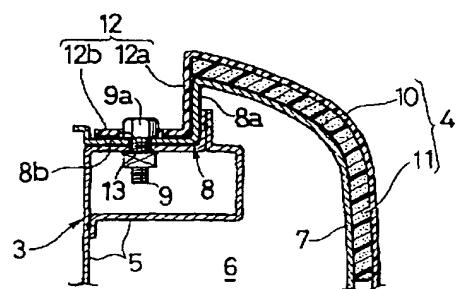
#### 【符号の説明】

1	車体
4	外傷防止カバー
7	保護部としてのフロントフェンダ
8	段部
9a	ボルト頭部（凸部）
10	カバー本体
11	クッションパッド
12	鉤部
13	位置決め孔（位置決め嵌合部）
15	孔（凹部）
16	位置決め突起（位置決め嵌合部）

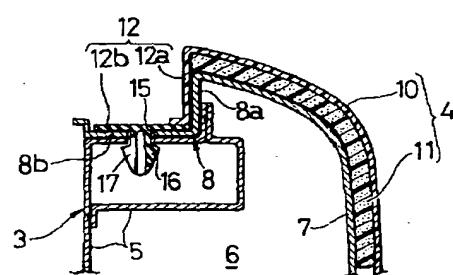
【図1】



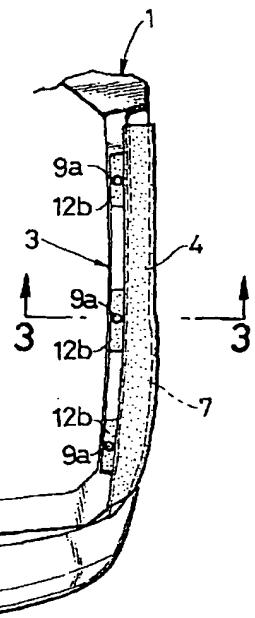
【図3】



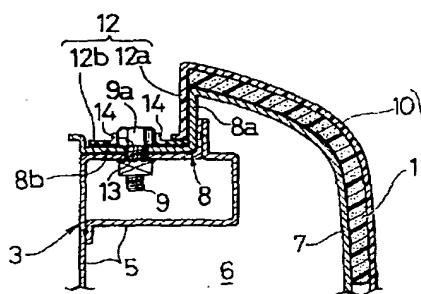
【図6】



【図2】



【図4】



【図5】

